～おいしさと楽しさ～
シノブフーズ株式会社
証券コード 2903

第55期 中間報告書

2024年4月1日から2024年9月30日まで

祝15周年!! epi mou

【経営理念】

当社グループがめざす姿

『おいしさと楽しさ』をモットーに、
消費者ニーズに応える商品づくりを通じ、
健康で豊かな食文化の向上に貢献し、
顧客、取引先、社会に信頼され、
そして従業員、株主、企業それぞれが
充足することをめざしてまいります。

社会の活力を支える企業として

私たちシノブフーズは、
お客様の視点に立った「安全・安心な商品」を
お届けすることはもちろん、コンプライアンス、
CSR（企業の社会的責任・社会からの信頼）に
もとづいた企業活動を実践し、
さらなる成長のための行動力を磨き、
変化に対して積極的に
挑戦してまいります。

中期ビジョン

中期経営計画における 基本戦略

当社グループでは、経営理念に則した『良品づくり』の
さらなるレベルアップを実現するために
4つの基本戦略をもとに取り組んでまいります。

販売戦略

良品をお届けするために必要な
「製造力」「開発力」「営業力」を磨き、
安全・安心で美味しい商品を
より多くのお客様に安定的に
提供する体制を
強化してまいります。

コスト戦略

良品を継続的にお届けするために、
原材料面、労務管理面、販売管理面を
中心に現場レベルでの
緻密な管理を行い、
中長期的な視点でのコスト削減に
取り組んでまいります。

人財戦略

多様な働き方や働き手に対応した
職場環境の整備に取り組み、
健康で働きやすく能力を
発揮し続けられる職場づくりと、
研修制度の充実などスキルの
向上を進めてまいります。

環境戦略

フードロス削減、石油製プラスチックの
代替品やエコ素材を使用した
包装資材の積極利用を推進する
とともに、廃棄物総量の削減と
ゴミの再資源化に
取り組んでまいります。

中期経営計画における数値目標

中期経営計画の数値目標として、
2025年3月期において連結売上高550億円、
経常利益率3.3%をめざしてまいります。

○数値目標［第55期（2025年3月期）］

売上高	550億円
経常利益率	3.3%

2022年3月期の期首から「収益認識に関する会計基準」
（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用し、
一部の取引の収益を純額で認識しており、適用後の数
値目標へ修正しております。

代表取締役社長
松本崇志

さらなるレベルアップの実現へ向け

シノブフーズは、『おいしさと楽しさ』をモットーに、設立以来50年以上、「食」にかかわる企業の使命として、お客様のニーズや社会のスタイルに合わせた商品を提供してまいりました。

第55期は中期経営計画【「良品づくり」のさらなるレベルアップをめざす5カ年計画】の最終年度であり、商品づくりを通じ、健康で豊かな食文化の向上に貢献し、顧客、取引先、社会に信頼され、そして従業員、株主、企業それぞれが充足することをめざし、取り組んでまいりました。

今後も「安全・安心な商品」をお届けすることはもちろん、コンプライアンス、CSR（企業の社会的責任・社会からの信頼）にもとづいた企業活動を実践するほか、環境負荷軽減や持続可能な社会づくりに貢献し、さらなる成長のための行動力を磨き、変化に対して積極的に挑戦してまいります。

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益
285億6千9百万円	12億2千1百万円	12億4千9百万円	9億3千7百万円
前年同期比4.4%増	前年同期比8.0%減	前年同期比7.9%減	前年同期比4.1%減

営業の概況

当社グループは中食業界に属し、主要な取引先であるコンビニエンスストア、スーパーマーケット、ドラッグストア等へ弁当、おにぎり、調理パン、寿司及び惣菜等を製造卸販売しており、当社グループを取り巻く環境は、原材料やエネルギー価格の高止まり、消費者の節約志向の高まりなど引き続き厳しい状況が続いております。

こうした状況下、当社グループは、「良品づくり」のさらなるレベルアップをめざす5カ年計画をテーマとした中期経営計画（2021年3月期～2025年3月期）を策定し、4つの基本戦略、「販売戦略」、「コスト戦略」、「人財戦略」、「環境戦略」に基づき目標達成に向け取り組んでおります。

販売面では、既存取引先様へ当社の製品ラインナップを幅広く提案するなど顧客のニーズに沿った営業活動を展開することで売上は堅調に推移し、なかでも生協様向けの夕食宅配弁当やカフェチェーン様向け商品の取引は順調に推移いたしました。また冷凍事業においては大阪工場に続いて2拠点目となる名古屋工場で冷凍惣菜・冷凍弁当の製造を拡大したほか、3拠点目となる関西工場に冷凍設備を新設するなど、事業拡大に向けた積極的な投資を行いました。

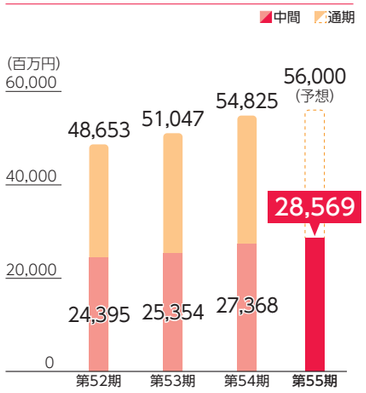
開発面では、商品力の強化と開発社員の技術向上をはかるため、社外から現役のシェフを講師として招いて勉強会を開催するとともに、「手作り感」や「出来立て感」をコンセプトに内製化をさらに進め、原材料の産地や製法など一品一品にこだわりを持たせた商品の開発に注力しております。また、原材料や製法に加えて包材やラベルなど、総合的な商品訴求力を持たせることで他社との差別化を図り、既存商品のブラッシュアップと新商品の提案を積極的に行いました。

コスト面では、原材料価格の上昇、労働コストの増加、エネルギー価格の高騰、物流コストの増加等が続いておりますが、これらを吸収するべく主要食材の調達方法の見直し、調理加工品アイテム数の削減や機械化による品質及び生産性の向上、各工場間での横断的な製造経費の見直しに取り組むとともに、原材料の高騰を見据えた商品規格の見直しを継続して行っております。

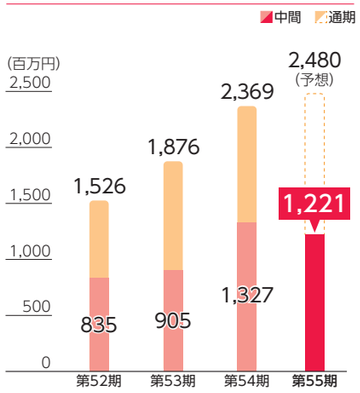
人財面では、女性活躍推進プロジェクトチーム「WORK+」（ワークプラス）の活動を通じ、働きやすい環境を整えるなど人財の定着と確保に努めております。また、階層別の勉強会を実施し全工場のレベルアップや均一化に取り組みました。

環境面では、プラスチック使用量を削減するため、軽量化した発泡素材容器への切換えや、ラップレスによる簡易包装化を進めるなどCO_2排出量削減に取り組みました。また各事業所にて、地域の方々とともに清掃活動のボランティアに参加するなど、社会貢献活動に取り組んでおります。

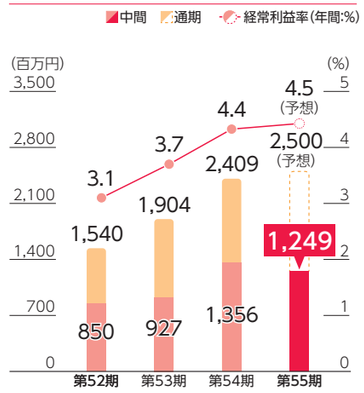
売上高



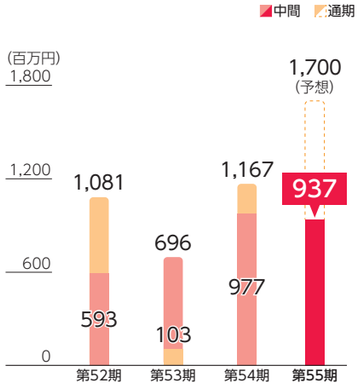
営業利益



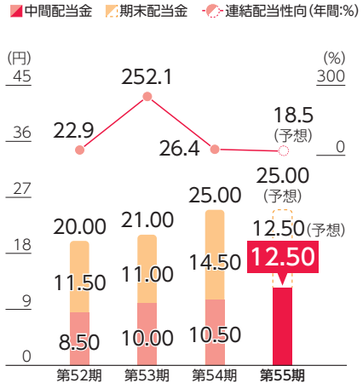
経常利益／経常利益率



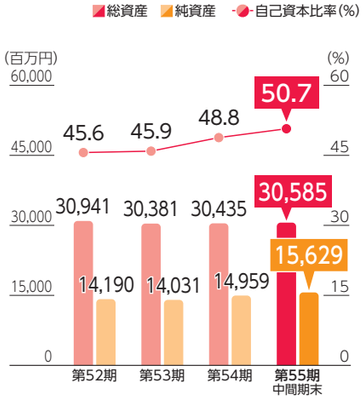
親会社株主に帰属する中間（当期）純利益



1株当たり配当金／連結配当性向



総資産／純資産／自己資本比率

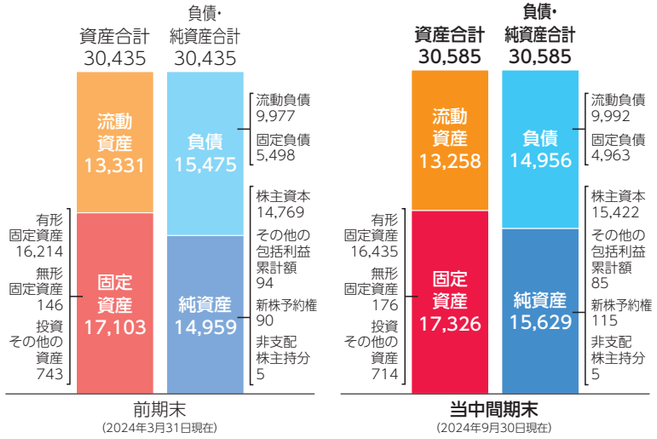


連結財務諸表

▶▶ Consolidated Financial Statements

中間連結貸借対照表の概要

（単位：百万円）



[資産合計]

売掛金の増加を主因に前連結会計年度末に比べ1億4千9百万円増加し、305億8千5百万円となりました。

[負債合計]

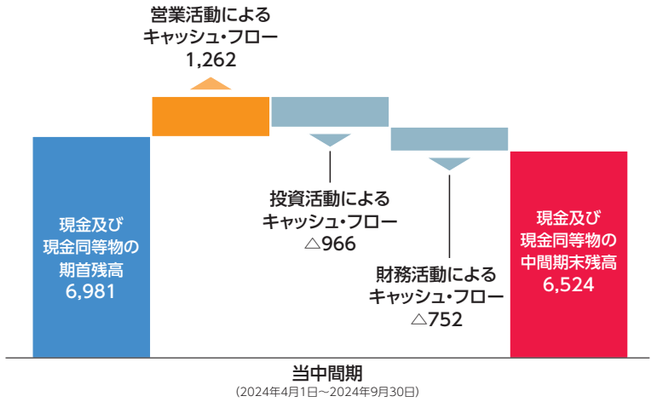
長期借入金の減少を主因に前連結会計年度末に比べ5億1千9百万円減少し、149億5千6百万円となりました。

[純資産合計]

親会社株主に帰属する中間純利益9億3千7百万円を計上する一方で、配当金の支払1億7千8百万円等により前連結会計年度末に比べ6億6千9百万円増加し、156億2千9百万円となりました。

中間連結キャッシュ・フロー計算書の概要

（単位：百万円）



[営業活動によるキャッシュ・フロー]

税金等調整前中間純利益	1,216
減価償却費	733
その他の資産の増減額（△は増加）	△196
法人税等支払額	△366

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

有形固定資産の取得による支出	△913

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

配当金の支払額	△178
長期借入れによる収入	500
長期借入金の返済による支出	△964

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社データ

▶▶ Corporate Data

会社概要

（2024年9月30日現在）

社名	シノブフーズ株式会社 SHINOBU FOODS PRODUCTS CO.,LTD.
設立	1971年5月1日
資本金	4,693,422,000円
従業員数	574名
事業内容	米飯加工食品（弁当、おにぎり、寿司等）・ 調理パン（サンドイッチ等）・惣菜等の製造販売

役員

（2024年9月30日現在）

代表取締役社長	松本 崇志	執行役員	花谷 由紀
代表取締役副社長	西村 寿清	執行役員	杉山 直博
取締役	清水 秀輝	執行役員	川部 昌文
取締役	長尾 正史	執行役員	足立 裕明
取締役	吉井 淳	執行役員	田向 智和
取締役（社外）	加藤 道彦	執行役員	藤井 誠
取締役（社外）	中野 由里	執行役員	萬田 幸一
常勤監査役	大塚 一樹		
監査役（社外）	野村 祥子		
監査役（社外）	南方 得男		

株式の状況

（2024年9月30日現在）

発行可能株式総数	45,656,000株
発行済株式総数	13,000,000株
単元株式数	100株
株主数	7,068名

ネットワーク

（2024年9月30日現在）

本社　大阪市西淀川区竹島2丁目3番18号
TEL（06）6477-0113（代表）

工場	●千葉	千葉県八千代市上高野1734番1
	●名古屋	愛知県弥富市四郎兵衛1丁目128番地
	●大阪	大阪市西淀川区福町1丁目9番16号
	●関西	大阪市西淀川区御幣島6丁目14番36号
	●京滋	滋賀県栗東市六地蔵1163
	●岡山	岡山県総社市中原字巽原88番の2
	●広島	広島県尾道市美ノ郷町本郷20001番地65
	●四国	香川県観音寺市柞田町字千拓丁93番7号
	●物流センター	大阪市西淀川区福町1丁目9番17号
	●東京事業所	東京都大田区蒲田5丁目42番6号 蒲田ハイツ201号
子会社	●㈱エス・エフ・ディー	大阪市西淀川区竹島2丁目3番18号
	●マイツベーカリー㈱	大阪市西淀川区竹島2丁目3番18号

株主メモ

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号　三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
（郵送物送付先）	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号　三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
（電話照会先）	0120−782−031（フリーダイヤル）（受付時間 9:00～17:00（土日休日を除く））
インターネットホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
（よくあるご質問（FAQ））	https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座をご利用でない株主様は、左記「電話照会先」までご連絡ください。なお、お手続き方法やよくあるご質問は、左記「よくあるご質問（FAQ）」サイトでご確認いただけます。

TOPICS | トピックス

FHA 23-26 FOOD & BEVERAGE APRIL 2024 SINGAPORE EXPO へ出展

2024年4月23日～26日の4日間、シンガポールにて開催された『FHA FOOD&BEVERAGE 2024』へ出展いたしました。シノブフーズとしては初の海外での展示会への出展となりましたが、様々な国のお客様との交流を通じて、冷凍の弁当や惣菜、おにぎりなどの海外市場での需要を確認できたとても貴重な機会となりました。

シノブフーズのサステナビリティ vol.6

私たちもまた世界市民の一員であるとの自覚のもとに、持続可能な地球環境と満足度の高い社会の実現をめざし、国連サミットで採択された国際目標「SDGs（Sustainable Development Goals-持続可能な開発目標）」の実現に取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

工場へ生ごみ処理機の設置

シノブフーズでは、環境への負荷軽減に努めております。その一環として、微生物によって生ごみを分解し、最終的に水として排出する仕組みの『生ごみ処理機』を関西・京滋・広島・四国の4工場に導入し、年間で計400トン以上の生ごみの排出を削減しております。今後もさらに増設し、生ごみ排出量の削減をより一層進めてまいります。

その他のサステナビリティへの取り組みは、当社ホームページをご覧ください。

https://www.shinobufoods.co.jp/sustainable/

Shinobu
シノブフーズ株式会社
〒555-0011 大阪市西淀川区竹島2丁目3番18号
TEL(06)6477−0113(代表)
https://www.shinobufoods.co.jp/

FSC ミックス 紙 | 責任ある森林管理を支えています FSC® C013080
VEGETABLE OIL INK
この報告書は、環境に配慮し、植物油インキを使用しています。